

ANNUAL REPORT

目次

巻頭言 1

I 国際交流センターの活動

1. 教育活動 2

- (1) 特別講演
- (2) FD 研修会
- (3) 集中講座
- (4) 日本語研修コース・集中コース
- (5) 課外補講：日本語

2. 留学生相談・支援 4

- (1) 留学生相談
- (2) 履修相談会の実施
- (3) 学業相談会の実施
- (4) 留学生のための就職支援
- (5) 日本語能力試験等説明会
- (6) 安全講習会（自動車等の運転）

3. 留学生交流 6

- (1) センター主催行事一覧
- (2) 国際交流デー
- (3) 留学生見学旅行
- (4) 地域交流

4. 国際交流 8
サマースクール（中国東北大学）

II 資料

1. 在学留学生状況 9

- (1) 外国人留学生受入状況
- (2) 外国人留学生宿舍状況
- (3) 民間団体奨学金受給状況

2. 国際交流センターについて 10

- (1) CALL 教室および自習室
利用状況について
- (2) 平成 24 年度に導入した
主な機器および教材

巻頭言

センター・ミッション再考

センター長 浜島昭二

国際交流センターの Annual Report も Vol.3 となりました。国際交流センターは本学国際戦略のより着実な推進を目的に語学センターと留学生センターを統合して設置され、Report Vol.1 では、新しいセンターの一体的なアイデンティティを確立することの難しさを扱った巻頭文を書きました。課題であったのは、新規事業を多く企画・実施していく過程で、組織全体の取り組みであるよりは個別スタッフの担当業務になってしまったことです。つまり、直接の担当者以外は、「お手伝い」的意識でしか関わってこなかったと言わざるを得ません。3年が経過し、当 Report が発刊されるころにはおおよそ4年が終わろうとしています。状況はあまり大きくは変わっていません。

それぞれの教育・研究あるいは学内外の諸業務に力を注ぎながら、組織としての国際交流センターのミッションを担うことが「負担」として受け取られるというのは、ありがちなことではありますが、改革と変革を進めていかなければならない時代状況において、大学が進むべき方向を巡る検討過程に積極的に関与し、目的達成のための具体案を提起し、その実施を当事者意識を持って主体的に担っていくことが必要なのだと思います。大学とくに工学系はもうすでにずいぶん前から「象牙の塔」ではなくなり、時代の変化に直接、晒され、それに対応することが求められています。

こうした状況の中、本学の国際戦略はグローバル社会で活躍し、イノベーションを起こす人材の育成に向けた高専機構・長岡技科大・本学の三機関連携による大学改革強化推進事業など、大きなプロジェクトを進めており、これまでの「国際基盤機構」を「グローバル工学教育推進機構」に再編し、「国際教育センター」の新規設置とともに、ICCEED および本センターの再編・強化が進められています。その中で当センターにはこれまでの業務のレベル・アップとともにますます重要な役割が期待されています。優秀な留学生の獲得から受け入れた学生のサポート、教職員・学生の研修に到るまで、多様で且つ重要なミッションです。

途上国と呼ばれる国々からの学生受入はもうとくに「援助」ではなくなっています。広い意味での国際化は次の時代に生き残っていくために我々自身が必要としているのです。それはまた、そこに関係する一人ひとりに世界観の再検証と再構築を迫る状況でもあります。意識の変革というのは気後れさせることでもあります。極めて刺激的なことでもあります。大学人・知識人としての覚悟と冷静な判断が必要です。

小職は定年により2014年3月末を以て当センター長を退任いたします。これまでの関係各位のご支援に感謝申し上げますと共に、さらなるご発展を祈念申し上げます。

I 国際交流センターの活動

1. 教育活動

(1) 特別講演

「すぐに実践できる英語学習法 & モチベーションアップセミナー」

日時:平成 24 年 10 月 22 日 (月) 10:30 ~ 12:00

場所:A2 - 201 講義室

講師:福江友樹氏 (株式会社アルク)

昨年度に引き続き、英語学習をテーマにした特別講演を実施した。ただし、今年度は就職活動を間近に控えた博士前期課程の学生ではなく、学部2年生を対象として、将来を見据えた学習計画の立て方、モチベーションを高める / 保つ方法などについて、福江友樹氏にご講演いただいた。

現在、学部1、2年生は授業の一環としてアルク社の e-learning 教材 NetAcademy2 の PowerWords コースを学習し、語彙増強に努めているが、教材の有効な利用法もご教示いただき、学生にとっては大変参考になったと思われる。

また、在学中に経験できる国際交流について知ってもらい、学生の英語学習の動機付けとするために、講演に先立ち、平成 24 年度大学生国際交流プログラムに参加してインドネシアのバンドン工科大学で研修を行ってきた学部2年生の神崎陽平さん (建築・都市システム学) による発表も行った。

(2) FD 研修会

「工学系専攻の研究留学生を対象とした日本語会話教室～研究室コミュニケーションの円滑化のために～」

日時:平成 25 年 2 月 8 日 (金) 15:00 ~ 16:10

場所:A2 - 101 講義室

講師:山路奈保子氏 (室蘭工業大学)

室蘭工業大学・国際交流センター准教授、山路奈保子氏を講師にお招きし、「工学系専攻の研究留学生を対象とした日本語会話教育～研究室コミュニケーションの円滑化のために～」と題した FD 研修会を開催した。山路氏の研究グループでは工学系の研究留学生を対象とした日本語教材開発を行っており、講演では教材開発に着手するまでの経緯、開発中の教材紹介、今後の構想についてお話しいただいた。

日常会話能力は、日本語の基本文型さえ学べば環境から自然に身につくというのではなく、意識的な学習が必要である。工学系の研究留学生が、時間的制約のある中で日常会話能力を身につけるためには、研究室コミュニケーションの意識的学習を支援する教材の開発が必要であり、山路氏らの教材では、研究室での日常会話及び研究活動の場面を想定した会話を用いてコミュニケーション能力を高めることを目指している。山路氏が述べられた研究室で実際に使える語彙・表現などの知識提供や会話訓練強化の必要性については、本学の日本語教育においても課題としており、非常に参考となる情報提供及び示唆をいただいた FD 研修会であった。

(3) 集中講座

期 間	内 容	講 師
8 月 27 日～8 月 29 日	中級者向け TOEIC 対策	野澤 美恵子 (英語講師 / TOEIC 講師)
9 月 19 日～9 月 21 日	英会話	トリストan・セナー (英語講師)
9 月 26 日～9 月 28 日	マレー語 ～言語と文化～	リム・バン・ボイ (本学特任准教授) タン・ワン・キアン (本学学生) アブドル・アジム・ビン・ジャイス (本学学生)
3 月 6 日～3 月 8 日	上級者向け TOEIC 対策	落合 智子 (アルク教育社) 野澤 美恵子 (英語講師 / TOEIC 講師)

センターでは、毎年 1 講座 12 時間～15 時間程度の集中講座を 3 回～4 回開催している。講座開始当時の目的は、普段接する機会の少ない外国語に親しんでもらうことであったが、現在は一つを、授業で開講している外国語の強化目的で開講している。

今年度は、開講希望の多い TOEIC 対策講座を中級者と上級者向けにレベルを分けて二回開講した。もう二つの講座は従来の方針を継承し、英会話とマレー語を開催した。

(4) 日本語研修コース・日本語集中コース

①日本語研修コース

コース概要 大学院進学を目指す国費大使館推薦の研究留学生を主な対象とし、約15週間の日本語予備教育を行う。

開講期間等 2012年度4月期<第17期> 15週間
4月11日プレイズメント・オリエンテーション、4月16日開講式・授業開始、
8月2日日本文化研修(常滑焼体験)、7月31日スピーチ発表会、8月7日修了式

コーディネーター 村松由起子・氏平明

修了者 Ikalovic Vedrana、Simba Kenneth Renny、Tan Wai Kian、Safi Walid Ahmad 以上4名

時間割

	月 Mon.	火 Tue.	水 Wed.	木 Thu.	金 Fri.
1 8:50-10:20	総合日本語(氏平)	日本語(氏平)	日本語(吉村)	日本語(林)	個人指導(各担当者)
2 10:30-12:00	日本語プレゼンテーション(桂田)	漢字(林)	日本語(氏平)	漢字(村松)	日本語(村松)
3 13:00-14:30	日本語(氏平)	日本語(氏平)	総合日本語(氏平)		日本語(吉村)
4 14:40-16:10					

②日本語集中コース

コース概要 学内からの要望に応じ、日本語研修コースが開講されない場合にこれに準じた簡易的なコースとして開講する。

開講期間等 2012年度10月期<第3期> 15週間
10月9日プレイズメント・オリエンテーション、10月11日授業開始、2月28日スピーチ発表会

コーディネーター 村松由起子・氏平明

受講者 Nyein Nyein Aye、Muhammad Hasnulhadi Bin Mohammad Jaafar、Nur Liyana Binti Tajul Lile、Kheang Seng、Duong Hoang Son、Teuku Mahlil、Nihad Karim Chowdhury、Rayendra Anandika、Maximiliano Vazquez Aguilar、Daniel Luna Valverde、Aditya Arie Nugraha、Witthaya Daodon
以上12名

時間割

	月 Mon.	火 Tue.	水 Wed.	木 Thu.	金 Fri.
1 8:50-10:20					
2 10:30-12:00	日本語(氏平)	日本語(氏平)	日本語プレゼンテーション(桂田)	日本語(林)	日本語(村松)
3 13:00-14:30	日本語(氏平)	漢字(林)			日本語(吉村)
4 14:40-16:10					

(5) 課外補講:日本語

開講期間 2012年4月~7月(前期)、10月~1月(後期)

コーディネーター 村松由起子

クラス編成及び受講者数

前期

クラス名	回数(計)	受講者数
にほんご初歩ローマ字	11 (11h)	5
にほんご初歩1	11 (11h)	1
にほんご初歩2	11 (11h)	6
にほんご文字	11 (11h)	5

後期

クラス名	回数/週(計)	受講者数
にほんご初歩ローマ字	12 (12h)	4
にほんご初歩1	12 (12h)	16
にほんご初歩2	12 (12h)	7
にほんご文字	12 (12h)	21

時間割

前期

水 Wed.	木 Thu.
にほんご初歩ローマ字 9:20-10:20 (鈴木)	にほんご文字 13:30-14:30 (石川)
にほんご初歩1 13:30-14:30 (鈴木)	にほんご初歩2 14:40-15:40 (石川)

後期

水 Wed.	木 Thu.
にほんご初歩ローマ字 10:40-11:40 (鈴木)	にほんご文字 13:30-14:30 (石川)
にほんご初歩1 13:00-14:00 (鈴木)	にほんご初歩2 14:40-15:40 (石川)

2. 留学生相談・支援

(1) 留学生相談

国際交流センターは、生活指導も含めた留学生への支援を重要な柱として、教員の留学生に対する教育研究指導を側面から援助・サポートしている。留学生の相談窓口として、次のものを用意している。

1. 留学生相談担当教員による相談窓口

留学生相談室では、一般基礎（教養）科目教員1名（林 孝彦）と専門科目教員2名（桂田浩一、リム パンボイ）の相談担当教員3名の体制で相談を受け付けている。留学生が生活全般で出会う様々な質問や相談に対応するほか、就学全般の履修相談、一般教養科目、語学科目、専門科目の勉学、就職相談、進学相談など、留学生が本学で遭遇するスペクトルの広い相談を受け付けている。相談教員の1名（リム パンボイ）は、日本語、英語の他、マレー語、インドネシア語、中国語で対応している。

2. 国際交流課交流支援係による相談窓口

ビザ、奨学金、宿舍、手続き書類の提出などに関する修学上の相談を受け付けている。

3. 国際交流会館における生活相談

2名のチューターが国際交流会館に居住し、国際交流会館に住む留学生の生活一般について相談を受け付けている。

留学生相談窓口の場所：

国際交流センター 2F 相談室	林 孝彦准教授（一般教養科目教員；男性） 内線：6866
F棟-408	桂田浩一准教授（専門科目教員；男性） 内線：6884
B棟-309	リム パンボイ特任准教授（専門科目教員；女性）内線：6942
国際交流課交流支援係	B棟1階 窓口⑨番 内線：6546
国際交流会館	馬場美里（大学院生 博士前期課程1年次；女性）
国際交流会館	石倉佑馬（大学院生 博士前期課程1年次；男性）

(2) 履修相談会の実施

国際交流センターでは、平成23年度から学生支援室と共催で履修相談会を開催している。履修相談会では、各系および英語コースから選ばれたチューター2～5名が留学生を含む新入生・在学生に対して科目選択のアドバイスを行った。平成24年度は前期・後期のそれぞれ開始直後（前期：4月9日～13日、後期：10月9日～12日）に開催し、前期には119人（留学生16人）、後期には47人（留学生19人）の相談者が各系のブースに訪れた。



(3) 学業相談会の実施

学部留学生は日常生活に困らないレベルの日本語能力を有するものの、ネイティブレベルに達しているものは少ない。このため日本語で開講される講義の単位取得に苦勞する者が多い。国際交流センターではこうした学部留学生の単位取得のサポートを行うために、平成22年度から学業相談会を実施している。学業相談会では、相談教員が学部留学生の単位取得状況と学業の進捗状況を把握した上で、学業についての適切なアドバイスを行っている。また、単位の取得に困難を伴う留学生に対しては、個々の科目の補習を行うパワーチューターを配置して、単位取得のサポートを行っている。

例年、前期に3回、後期に3回の計6回実施しており、平成24年度も同様に実施した。平成24年度の学業相談会では、延べ105人の学部留学生から相談を受け、そのうち31名の学部留学生に対して33名のパワーチューターを配置し、計50科目の単位取得のサポートを行った。

(4) 留学生のための就職支援

平成 24 年度は留学生のための進路・就職ガイダンスを 2 回実施した。

第 1 回では留学生相談担当教員が、進路確認、就活の進め方・就活スケジュール、企業の採用情報、卒業生情報、資料請求・エントリー、採用試験、内定～入社、在留資格の変更などについて説明し、留学生が初めて直面する日本の就職活動に関する理解を深めた。

第 2 回では現在企業に就職している本学 OB の留学生を講師に招き、自身の体験から留学生が日本で就職活動するにはどのようにしたらいいのかを講演していただいた。

また、現在就職が内定している在学学生 2 名にも自身の体験談について講演をしてもらい、日本の就職活動に関する、より実践的な説明を行った。

第 1 回実施日時：11 月 12 日（月）18:00～19:00

第 2 回実施日時：1 月 21 日（月）18:00～19:30

場所：A2 棟 101 講義室

担当：留学生相談担当教員、国際交流課交流支援係



(5) 日本語能力試験等説明会

留学生の就職活動支援の一環として、日本語能力試験、ビジネス日本語能力テスト等の資格試験に関する説明会を実施した。

実施日時：6 月 13 日（木）12:15～12:50

場所：国際交流センター 205 教室

担当：村松由起子

（国際交流センター 日本語担当教員）



(6) 安全講習会（自動車等の運転）

平成 24 年度は留学生のための安全講習会を 3 回実施した。

本講習では留学生相談担当教員が、日本の交通ルールや日本の運転免許証の取得方法、国際運転免許証の注意点、自動車保険、自動車税、事故にあった場合の対処法、交通事故の事例と賠償金額などについて説明し、留学生の理解を深めた。特に渡日間もない留学生は、まだ日本の交通ルールをよく理解できていない者も多く、本講習は留学生が安全な留学生活を送る上で大変重要なものとなっている。

第 1 回実施日時：5 月 22 日（火）18:15～19:15

第 2 回実施日時：7 月 5 日（木）18:00～19:00

第 3 回実施日時：10 月 10 日（水）17:00～18:30

場所：A2 棟 101 講義室

担当：留学生相談担当教員、国際交流課交流支援係



3. 留学生交流

(1) センター主催行事

NO.	行事名	内 容	開催日	参加者数
1	4月期外国人留学生・留学生 チューターガイダンス及び懇親会	新入学外国人留学生のためのオリエンテーション及び懇親会	4月4日(9日・11日)	120
2	第1回留学生のための安全講習会	留学生に日本で車を運転する場合の交通規則、保険、法律などの指導	5月22日	78
3	第7回国際交流デー (世界のお茶会)	日本人と留学生がさまざまな体験を通して、お互いを理解し合う。	6月29日	500
4	第2回留学生のための交通安全 講習会/新在留管理制度説明会	留学生に日本で車を運転する場合の交通規則、保険、法律などを 指導。「在留カード」等、新たな在留管理制度の説明。	7月5日	98
5	サマープログラム(中国・東北大学)	中国・東北大学の学生を招き、サマースクールプログラムを開催。工学に 関する討議及びプレゼンテーション、ホームステイ、工場見学などを実施。	8月22日～31日	26
6	オープンキャンパス	地域の方々や入学希望の学生に留学生の母国の紹介	8月25日	241
7	10月期外国人留学生ガイダンス 及び懇親会	新入学外国人留学生のためのオリエンテーション及び懇親会	10月2日	120
8	第3回留学生のための安全講習会 及び留学生チューターガイダンス	留学生に日本で車を運転する場合の交通規則、保険、法律などの 指導	10月10日(11日・16日)	58
9	第8回国際交流デー (世界の運動会)	日本人と留学生が各国の運動競技などを競い、交流を深める。	10月27日	54
10	第1回留学生のための進路・就職 ガイダンス	進路確認、就活の進め方、企業採用情報、卒業生情報など	11月12日	39
11	第2回留学生のための進路・就職 ガイダンス	在学生、卒業生からの進路・就職アドバイスなど	1月21日	20
12	留学生意見交換会及び留学生 懇談会	留学生支援団体等と意見交換会及び懇談会	3月7日	200
13	外国人留学生見学旅行	京都(二条城、清水寺、金閣寺、京都市民防災センター、その他)	3月11日～12日	51
14	第9回国際交流デー (リサイクル活動)	リサイクル活動の実施	3月19～21日・4月4日	106
合 計				1,711

(2) TUT 国際交流デー (第7回「世界のお茶会」)

国際交流センターでは、学内関係者の積極的な国際交流を行うことを目的として、毎年「国際交流デー」を実施しており、今年度第1回を6月29日(金)にA棟横テント下で「世界のお茶会」と題して実施した。

インドネシアのエスジェリーバンダン、マレーシアのネスロ、バングラデシュのラッシーなど18カ国・地域の留学生がそれぞれ用意した各国のお茶をふるまい、日本人学生と留学生が用意したパフォーマンスを鑑賞しながら学内関係者相互の異文化交流が行われた。



年3回テーマを変えて実施しており、今年度実施したその他のテーマは下記のとおり。

○第8回

「世界の運動会」と題して、各国で行われる運動競技を通しての異文化交流

日時:平成24年10月27日(土)

場所:陸上競技場

○第9回

本学卒業生の不要となった生活用品でまだ使うことができるものを学内でリサイクルする「リサイクル活動」を実施

日時:平成25年3月18日(月)～21日(木)・4月4日(木)

場所:国際交流会館

(3) 留学生見学旅行

国際交流センターでは、3月11日(月)、12日(火)に外国人留学生見学旅行を実施した。この見学旅行は、当該年度に入学した留学生を対象に日本の文化、歴史における名所・旧跡、市街地等の見学、日本文化体験等を通じて日本への理解を深めてもらうことを目的として毎年実施している。

今年度は、46名(日本人チューター6名含む)の参加があり、初日には東日本大震災からちょうど2年となることから日本の災害及び防災意識等を知ってもらおうと京都市市民防災センターを訪問、その後世界文化遺産である京都市内の建造物の見学や友禅染伝統文化体験等留学生の意見を取り入れ、国際交流センター教員の企画で実施した。参加者からは日本への理解が深まった、3月11日という特別な日に改めて災害を認識できた等の感想があり有意義な旅行となった。

(4) 地域交流

① 語学講師等派遣

NO.	行事名	派遣先	内容	開催日	参加者数
1	SSH (スーパーサイエンスハイスクール) 英語村講師	愛知県立時習館高校	高校生と英語で会話	11月10日	32
2	中部中学校 社会科授業への協力	中部中学校	社会科授業への協力	11月14日	1
3	SSH (スーパーサイエンスハイスクール) 時習館高校英語口頭発表・ポスター発表に対するアドバイザー	愛知県立時習館高校	英語によるポスター発表の指導	12月16日	10
合 計					43

② まつり等

NO.	行事名	派遣先	内容	開催日	参加者数
1	「各国の文化について学ぶ」	豊橋シニアライオンズクラブ	各国の文化について紹介	6月4日	4
2	豊橋祇園祭鑑賞会	豊橋市国際交流協会	花火鑑賞	7月21日	46
3	豊橋市外国人市民会議	豊橋市役所	豊橋のまちづくりについて考える	8月11日 11月17日 3月2日	1
4	豊橋まつり「総おどり」	豊橋市国際交流協会	市民総おどり	10月20日	24
5	カンボジア留学生による自国紹介	豊橋ライオンズクラブ	カンボジア留学生の自国紹介スピーチ	11月4日	1
6	第34回五並地区市民館まつり	豊橋市五並地区市民館	民族楽器「アングル」の演奏	11月4日	10
7	鳳来寺山登山&そば打ち体験	新城市国際交流協会 新城ユースの会	新城の同世代の若者との交流	12月9日	10
8	冬のつと	北海道国際交流センター	北海道でホームステイおよびスキーなどのウィンタースポーツ等を通じ、交流を図る。	2月5日～11日	2
9	世界のお茶会&世界の踊り	新城市国際交流協会	世界のお茶と踊りのパフォーマンス	2月23日	2
10	豊橋ゴールデンロータリークラブ奉仕プロジェクト(留学生と教諭との交流会議)	豊橋ゴールデンロータリークラブ	地元若手教員と留学生との討論・発表会	3月16日	20
11	英語でお花見パーティー & 陶芸体験	新城市国際交流協会 新城ユースの会	新城の同世代の若者との交流	3月31日	9
合 計					129

③ ホーム・ビジット等

NO.	行事名	主催団体	内容	開催日	参加者数
1	ヒッポファミリークラブ 1泊ホームステイ	ヒッポファミリークラブ	日本の家庭に一泊ホームステイ	4月26日	4
2	留学生との交歓会(佐久島会)	蒲郡GIA会員三浦氏	蒲郡GIA会員三浦氏別荘での交換会。バーキュー、釣りなど。	6月・8月	6
合 計					10

④ 施設見学等

NO.	行事名	主催団体	内容	開催日	参加者数
1	インダストリアルツアー	グレーター・ナゴヤ・イニシアチブ協議会	株式会社トヨタ自動織機・高浜工場への見学会	11月27日	13
合 計					13

4. 国際交流

(1) サマースクール（中国東北大学）

国際交流センターでは、2012年8月22日～30日まで、中国瀋陽東北大学とのサマースクール・プログラムを本学で実施した。

中国東北大学より学生11名と引率教員2名が来学し、本学学生16名が交流を図った。サマースクール・プログラムは、国際的に活躍できる工学士としての資質を、他国・他大学の学生との交流を通じて、養うために年1回実施している。

8月22日は、本学駅前サテライト・オフィスで、1) 留学生と本学学生、教職員の自己紹介、2) 「豊橋技科大及び地域」（梅本教授）についての紹介、3) 「技術大の研究、勉学、豊橋の生活について」の紹介、4) グループ討論会のためのグループ分けを行い、プログラムが開始した。

プログラムの中心は、中国から来日した学生と本学の学生が討論を通して国際的コミュニケーション能力やチームワーク力を高める事を目的としたグループ討論である。中国からの学生（本学に在籍する東北大学出身の研究生を加えて12名）と本学学生を3名ずつに分け4つのグループを構成し、各グループは「資源」、「環境」、「自動車」、「エネルギー」の個別テーマを資料の収集や討論を通じて、お互いの国の現状理解や知識・見解を深め、最終日の発表会資料の作成を行った。



各グループには本学の教員を各1名指導役として割り当て、3日間にわたり、延べ7時間の討論を行った。最終日には、グループ毎に討論内容を口頭発表してもらい、最優秀賞等の表彰を行った。

また、日本文化理解促進のための本学における日本語講座、豊橋市国際交流協会と豊橋市アゼリア会協力のもとでの華道・茶道の伝統文化体験、豊橋ゴールデンロータリークラブと蒲郡市協力のもとでのホームステイ・プログラムを通じて、日本の文化理解を深化させた。豊橋地区日本中国友好協会とも交流し、日本と中国の友好関係についての理解も深めた。

豊橋市長と蒲郡市長を表敬訪問し、交流の現状等の報告を行った。

その他、本学エレクトロニクス先端融合研究所 (EIIRIS)、ベンチャー・ビジネス・ラボラトリ (VBL)、人間・ロボット共生リサーチセンター、ニューアロイ株式会社、トヨタ自動車株式会社を訪問し、日本の工学教育と研究及び産業の現状を視察した。

最後の歓送会には、本学榊学長、神野副学長、浜島国際交流センター長、ホームステイでお世話になったホストファミリーの皆さん、そしてプログラム参加者と担当教員らが参加した。プログラム参加者はグループのメンバーやホストファミリーの皆さんと談笑し、写真を取るなど、サマースクール・プログラムの最後の一時を楽しく過ごしていた。



II 資料

1. 在学留学生状況

(1) 外国人留学生受入状況

区分	在籍身分状況												合計					
	正規生			正規生			博士			非正規生			国費	私費	合計			
	国費	私費	合計	国費	私費	合計	国費	私費	合計	国費	私費	合計						
◆アジア◆																		
1 インド	1					1										1		1
2 インドネシア			1	4		2	1						1			5		19
3 ベトナム			12	2		8							1			2		22
4 カンボジア			1															1
5 スリランカ			1															1
6 タイ						1										1		1
7 大韓民国						1												1
8 台湾						1										1		8
9 中華人民共和国				6		10										1		19
10 ネパール							1									1		1
11 バングラデシュ				5												1		5
12 マレーシア		31	1		5	13		3	3				1			39	4	16
13 ミャンマー				4		1										4		1
14 モンゴル			3			2										1		1
15 ラオス	1		4			4			1									5
◆中南米◆																		9
16 コロンビア				1		1										1		1
17 ブラジル						1												1
◆ヨーロッパ◆																		1
18 ウズベキスタン						1												1
19 アルバニア						1												1
20 ボスニア・ヘルツェゴビナ													1					1
◆中東◆																		1
21 パレスチナ									1									1
22 アフガニスタン													2					2
◆アフリカ◆																		1
23 エジプト								1								1		1
24 モロッコ						1												1
25 ジンバブエ									1									1
26 ギニア													1					1
27 アルジェリア									1							1		1
28 タンザニア													1					1
小計	3	31	29	16	5	49	5	3	32	4			8			28	39	118
合計		63		70			40			12						185		

備考：平成16年12月1日より、文部科学省からの通達に基づき、JDS事業により奨学金を受給している学生を、「私費」から「政府派遣」に切り替える。

H24.5.1 現在

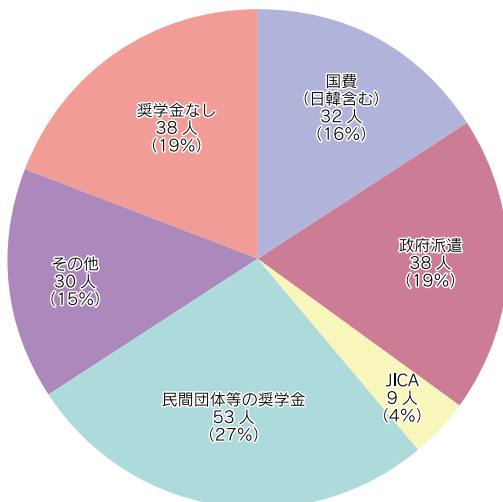
(2) 外国人留学生宿舍状況

区分	宿舍状況												合計					
	大学宿舍				大学宿舍以外				大学宿舍以外				国費	私費	合計			
	国際交流会館	学生宿舍			公営住宅				民間アパート							社員寮		
◆アジア◆																		
1 インド																		1
2 インドネシア	2		3			1			6	1						1		19
3 ベトナム	2		3			9				3						2		21
4 カンボジア						1										1		1
5 スリランカ						1										1		1
6 タイ						1										1		1
7 大韓民国			3						1							1		8
8 台湾																1		1
9 中華人民共和国						6				1						1		19
10 ネパール							1											1
11 バングラデシュ	2															5		4
12 マレーシア		3	1		1				1	3							39	13
13 ミャンマー	3								1		36	10						4
14 モンゴル				1		4										1		4
15 ラオス						9										1		9
◆中南米◆																		1
16 コロンビア						1										1		1
17 ブラジル										1								1
◆ヨーロッパ◆																		1
18 ウズベキスタン						1												1
19 アルバニア																		1
20 ボスニア・ヘルツェゴビナ	1															1		1
◆中東◆																		1
21 パレスチナ																		1
22 アフガニスタン						2												2
◆アフリカ◆																		1
23 エジプト																1		1
24 モロッコ						1												1
25 ジンバブエ																		1
26 ギニア																1		1
27 アルジェリア	1															1		1
28 タンザニア																1		1
小計	12	3	13	1	37	36	1	11	10	14	36	54				28	39	113
合計		28									104					180		

備考：平成16年12月1日より、文部科学省からの通達に基づき、JDS事業により奨学金を受給している学生を、「私費」から「政府派遣」に切り替える。

H24.5.1 現在

(3) 平成24年度奨学金受給状況 (H25.1.1 現在)



■その他の奨学金の内訳

日本学生支援機構私費外国人留学生学習奨励費	12
ロータリー米山記念奨学会	6
NGK 留学生基金	5
名鉄国際育英会	4
オーエスジー外国人留学生奨学金	2
ドコモ留学生奨学金	2
マブチ国際育英財団	2
愛知留学生	2
服部国際奨学財団	2
にっとくアジア留学生奨学基金	2
ヒロセ国際奨学財団	2
日揮・実吉奨学会	2
イノアック国際教育振興財団	2
佐川留学生奨学財団	1
斉藤稜児イスラム研究助成基金	1
市原国際奨学財団	1
似島国際奨学財団	1
神野教育財団	1
西島奨学金	1
天野工業技術研究所	1
豊田通商留学生奨学金	1
合計	53人

2. 国際交流センターについて

(1) CALL 教室および自習室利用状況について

CALL 教室の授業外開放（4月～6月、9月～2月の平日：9時から19時開放）

■ CALLラボ教室 利用者数（自習及び一部授業での利用含む）

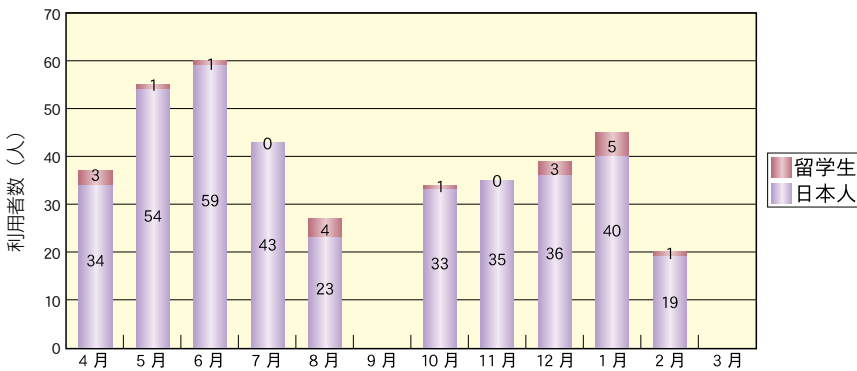
利用月	利用者数（人）			利用者数（人）		
	日本人	留学生		日本人	留学生	
4月	34	3	4月～3月	376	19	395
5月	54	1	月平均	36	2	40
6月	59	1	1日平均	1.9	0.1	2
7月	43	0				
8月	23	4				
9月						
10月	33	1				
11月	35	0				
12月	36	3				
1月	40	5				
2月	19	1				
3月						

※出入管理システムの入退室記録を基に算出した。

※8、9、3月は閉室。

24年度は昨年度と比べ、授業での利用も自習での利用も減少した。年度末によりやくパソコン全台およびサーバを更新したので、来年度の利用増加に期待したい。

■ CALLラボ教室 利用者数



3年間の利用者数

22年度 581名

23年度 440名

24年度 395名



■ CALLラボ教室 授業での利用状況

前期

科目	教員名	コマ数	学生数	延べ人数	授業回数
英語 I Bb	レヴィン	1	33	495	15
英語基礎 I	レヴィン	1	16	240	15
英語 I Ba	ライアン	1	31	465	15
英語 III B	ライアン	1	28	28	1
英語 V Bf	秋元	1	50	750	15
合計		5	158	1978	61

24年度末にパソコン全台の更新を行った。22年度から段階的に分けて実施してきた更新がようやく完了となり、新システムとしての設備環境が整った。

後期

科目	教員名	コマ数	学生数	延べ人数	授業回数
英語 II Aa	ライアン	1	25	150	6
英語 II Ac	ライアン	1	31	93	3
日本の文化 II	村松	1	1	15	15
日本の社会 II	村松	1	7	105	15
英語 II Ba	笹尾	1	31	465	15
英語 VI Be	秋元	1	27	405	15
合計		6	122	1233	69



総延べ人数	総実数
3211	280

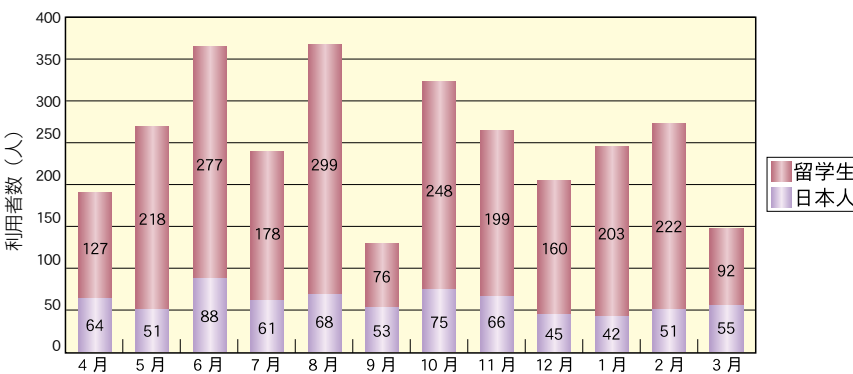
自習室の利用時間（平日の午前9時から午後10時まで）

■自習室 利用者数

利用月	利用者数（人）		利用者数（人）				
	日本人	留学生	日本人	留学生			
4月	64	127	年間合計	719	2,299	3,018	
5月	51	218		月平均	60		192
6月	88	277		1日平均	3.0		9.6
7月	61	178	※出入管理システムの入退室記録を基に算出した。				
8月	68	299					
9月	53	76					
10月	75	248					
11月	66	199					
12月	45	160					
1月	42	203					
2月	51	222					
3月	55	92					

昨年度と比較すると、留学生の利用者数が大幅に増加し、全体の利用者数も増えた。比較的新しいパソコンや静寂な環境が好評のようである。次年度には視聴覚機器の更新を検討したい。

■自習室 利用者数



3年間の利用者数
 22年度 2268名
 23年度 2055名
 24年度 3018名

(2) 平成24年度に導入した主な機器及び教材

※教材は全て自習室に配架してあります。

< 機器 >

202 (CALL) 教室

- CALL システム端末およびサーバ(更新) 1式

< 教材 >

オンライン教材 DVD

- 英語 (映画)
 - 「英国王のスピーチ」「カンフーパンダ2」
 - 「グリー シーズン3」「真実の行方」
 - 「ダークナイト」「ヘルプ ～心がつなぐストーリー～」
 - 「50/50」「フェア・ゲーム」「マネーボール」
- 日本語 (映画)
 - 「奇跡」「麒麟の翼 ～劇場版・新参者～」
 - 「ステキな金縛り」「ツレがうつになりまして。」
 - 「はやぶさ 遙かなる帰還」「ロボジー」
 - 「friends ものけ島のナキ」
 - 「Railways 49歳で電車の運転士になった男の物語」

テキスト

- 日本語教材
 - TOEICテスト究極のゼミ Part 5&6
 - TOEICテスト究極のゼミ Part 7
 - 新TOEIC TEST時短特急ミニ模試×5回

CD

- 英語教材
 - 新TOEICテスト直前の技術
 - TOEICテスト究極の模試600問
- 日本語教材
 - BJTビジネス日本語能力テスト入門 わかるビジネス日本語
 - 日本語能力試験 公式問題集N1
 - 日本語能力試験 公式問題集N2
 - 日本語能力試験 公式問題集N3
 - 日本語能力試験 公式問題集N4
 - 日本語能力試験 公式問題集N5
 - 日本語能力試験 模擬テストN1<1>
 - 日本語能力試験 模擬テストN1<2>
 - 日本語能力試験 模擬テストN2<1>
 - 日本語能力試験 模擬テストN2<2>





夏期 TOEIC 対策講座



オープンキャンパス



英会話講座



国際交流デー (世界の運動会)



FD 研修会



留学生見学旅行

お知らせ

22 年度より、モニター、LL システム、パソコン、サーバの順に更新を行ってきた CALL 教室の機器更新がようやく完了しました。授業においても、また自習用としても様々な活用が可能となりました。大いにご利用ください。

平成 24 年度 国際交流センタースタッフ名簿

センター長	教 授	浜島昭二
センター	准 教 授	桂田浩一
センター	准 教 授	田村真奈美
センター	准 教 授	林 孝彦
センター	准 教 授	村松由起子
センター	特任准教授	リム パンボイ
センター	助 手	鈴木聖子
担 当 事 務		国際交流課交流支援係

編集後記

Vol.3をお届けいたします。巻頭言にもありますようにこの間、国際関係の組織が再編され、3つのセンターがスタッフの構成も新たに、それぞれに明確なミッションを持ち、これまで以上に連携を強化して本学の国際戦略を推進していくこととなります。それにともないこのような公報・報告資料につきましても、形態、内容などを再検討していくこととなります。大学も今や激動・激変する国内外の状況に対応していかなければならない時代になりました。指導的技術者を育成することを使命とする本学は、産業構造の変化に最前線で向き合っていかなければなりません。そこには新たなそしてフレキシブルな国際戦略とその広報活動が必要です。これまでこのAnnual Reportをお読みいただいた各位に感謝申し上げますとともに、今後の検討に向けたご批判、ご意見をちょうだいいたしたく、よろしくお願い申し上げます。

(S.H.)



国立大学法人
豊橋技術科学大学 国際交流センター
Annual Report 第3号(平成24年度版) 平成26(2014)年2月発行

〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1
電話(0532) 44-6546 Fax(0532) 44-6557
e-mail koushien@office.tut.ac.jp
ホームページ <http://www.cir.ignite.tut.ac.jp/>